

【修学旅行二日目…

仲間と共に、沢山の思い出を創る！】

今日は班ごとに、タクシーによる班行動。班ごとに計画したコースを廻る一日です。あいにくの雨予報でしたが、その分気温は低い感じでした。ただ猛烈な湿度の高さを感じました。起床は六時半の予定でした。しかし、早朝から調整のためのトレーニングに取り組んだ仲間たちもいます。陸上長距離のメンバーのみなさんです。幸い雨は降っていませんでしたので、鴨川のほとりで練習です。バスガイドさんのお話でも多分説明されたのではないかと思います。この時期にしか見られない「川床」があちらこちらに設置されていました。ワンちゃんの散歩の方やランニングをされている方たちにもたくさん出会いました。天気によればもう少し清々しい気持ちで走るこ



とができたのかも知れませんが、それでもいい汗をかいていたみなさんでした。こんな努力はきつと、この後よい結果をもたらしてくれることでしょう。

朝食の後は班ごとに集合して、お世話になるタクシー運転士のみなさんとご挨拶。そして出発です。みんなで計画を立てた班行動のスタート。九時を過ぎた頃から急に空に黒い雲が広がり、土砂降りになりました。私も、京都でこんなひどい雨に遭遇したのは初めてでした。夕立のように短い時間でしたが、かなりすごい雨でした。それでもみんなの願いが通じたのか、短時間で激しい雨は止み、午後



は日も差してきました。今朝の天気予報はずっと雨でしたから、きつとみんなの強い思いが通じたのかも知れませぬ。清水寺、金閣寺（鹿苑寺）、北野天満宮、嵐山方面・・・、暑さも昨日程ではなく、混雑の度合いもピー

ク時と比べたら多くの場所が空いていましたし、運転士さんたちのアドバイスもあって、有意義な時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。



班行動から続いて大江能楽堂での体験学習。『能と狂言』みんなの目にはどのようなように映っていたのでしょうか。日本の伝統文化と言われるものはたくさんありますが、なかなか触れる機会がないのが「能・狂言」なのではないで

しょうか。どちらかというと言は狂言は喜劇に近いものがあるので、わりと親しみやすいのですが、能はさらに奥が深く、有名な内容ではありましたが、やはり解説していただかないとなかなかわからないものです。興福寺の勸進能などは毎年東京でも行われるので、ぜひ機会を見つけて、改めて見にいってみるといいでしょう。(二・二年生のみなさんは「世阿弥」という名前を聞いたことはありますか? 「花伝書」はどうでしょう。ぜひ一度調べてみてくださいね。)

六百年以上も昔から続いている能や狂言。このほかにも日本独自の文化として発展して

きたものがたくさんあります。最初はわからなくても、いろいろ興味を持つて見ていると、自然に意味が伝わるようになることもあります。今回三年生は、その最初の扉を開けたのかも知れませんが、奈良でも京都でも、沢山の神社仏閣にお参りしたり、その歴史を調べたりした今回の修学旅行。各クラスごとに時間をかけて創ったコースです。今回の見学を通して、どんなことをみんな自身は学んだのでしょうか。ぜひ聞かせてくださいね。楽しみにしています。

『不易と流行』という言葉があります。京都も少しずつですが変化をしています。みんな

が買ったお土産だけをとって見ても、何年経ってもスタンダードとして売られているものもあれば、新たなアイディアで進化を続けているものもある。生八つ橋などはよい例だと思います。(ちなみに今回見つけたのは、「パイン飴」の味の八つ橋でした。)夕飯は焼ききでした。京都の二日目の夜は定番です。みんなお腹いっぱい、ご飯もおかわりして食べました。

さあ、明日はいよいよ最終日、三日間の総仕上げ、学級別コースで底力を見せてください。小雨の予報ですが、今日同様に吹き飛ばしてしましましょう。みんなのエナジーで。

